

## 祝、厚木募集案内所 移転2周年 地域の人々との繋がりを大切に



貼ってもらったポスター



2年前まではここに案内所があった

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、旧厚木募集案内所跡地に開店した飲食店において募集ポスター掲示した。

厚木募集案内所は約2年前、建物の老朽化等により移転をした。現在のその跡地には飲食店ができ、募集ポスター掲示の依頼をしたところ、店長のご厚意により綺麗な店内の目立つ位置にポスター3枚の掲示が叶った。店長は「いつも、ありがとうございます。以前、ここに募集案内所があったことは知りませんでした。ポスター貼りますよ」と快諾した。

厚木募集案内所は、「今後も、うごんの様に長く地域の人々との繋がりを大切にし、協力を得ながら募集目標達成にまい進していく」としている。

## 横浜サイエンスフロンティア高校進路フォーラムを支援

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、8月7日（金）、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校において開催された「進路フォーラム」で、広報支援を行った。本進路フォーラムは、同校出身の大学生が各進路先の大学PRブースを開設し、大学生生活紹介や受験勉強相談等を通じて、後輩の進路決定の一助となるべく同校同窓会が主催して行われているものである。

今回のフォーラムには、今年の春に第63期学生として防衛大学校に入校した山下学生が駆け付け、後輩の生徒たちへ、防大の魅力や自身の経験談を交えながら説明していた。

特に、「不規則で自堕落な学生生活に陥りがちな他大学とは違い、防大は教育環境がとても充実しており、自分を成長させてくれる場である」との言葉に、生徒からは「意外と施設も教育環境も充実しているようで、イメージが変わった」、「たくさんさんの経験や充実した学生生活を送れることを知り、進路の選択肢として考えてみたい」との声を聞くことができた。

横浜出張所は、「今後も、学校と密接に連携し、一人でも多くの生徒に防大の魅力を知ってもらい、募集成果に繋げていきたい」としている。



防大生である先輩（山下諒太学生）の説明に熱心に耳を傾ける生徒たち

## 小学生部隊見学

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、8月7日（金）、駒門駐屯地において実施された大井町小学生の部隊見学を支援した。

この部隊見学は、毎年、大井町役場が小学生防災安全体験教室の一環として、小学4・5年生に対して関係機関の働きを知るといふことで行っているものである。

当日は、駒門駐屯地に所在する大井町災害隊区担当の第1高射特科大隊第1中隊が人命救助システムを紹介するとともに、一部システムを使用した訓練展示を実施し、参加した30名の小学生たちに人命救助について知ってもらった。

参加した小学生からは、「いろいろな道具があるんだ」と感心したり、油圧ポンプを実際に体験操作してみても「力がないと使えない」などいろいろと勉強になったという感想が述べられた。

小田原地域事務所は、「今後も、担当する市町と協力して自衛隊の活動を浸透させていく」としている。



展示を熱心に見守る小学生達